

## 令和3年度協働型学校評価アンケート集計結果

仙台市立南光台中学校

本校では、保護者（家庭）・地域の皆様とともに目指す協働型学校評価の到達目標として『人との関わりを大切にし、たくましく生きる子ども』を南光台小学校と共に掲げ、9年間を通した子どもの育成を目指しております。今年度も、昨年度同様、協働型学校評価の重点目標として以下の2点について重点的に取り組んでまいりました。

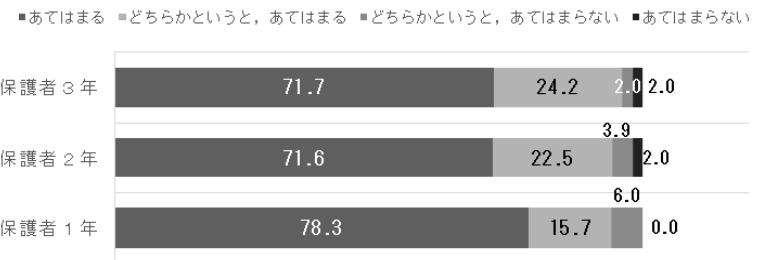
A : 家庭・地域・学校で、心を込めたあいさつを交わせる生徒  
B : 学校行事やボランティア活動を通して、地域に笑顔を届けることができる生徒

この2点につきまして、1月にアンケートを実施し、生徒や保護者の皆様から多数の回答をいただきましたので、その集計結果をご紹介いたします。なお、今年度、地域の活動はほぼ制限されていたことから、地域の皆様へのアンケートは中止しております。ご了承ください。

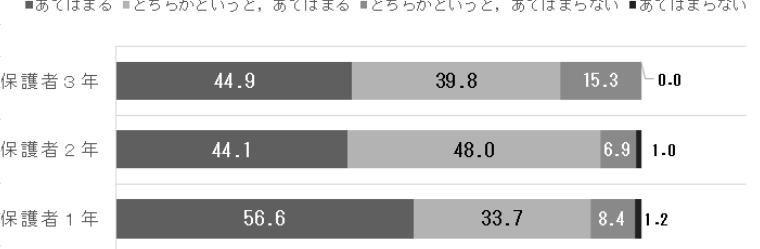
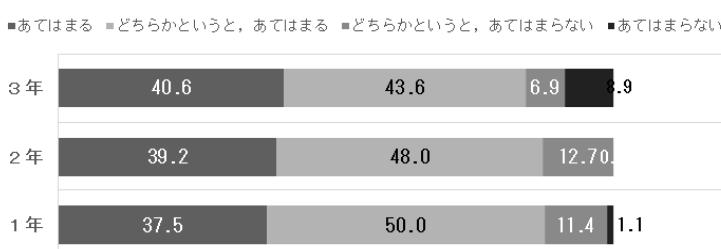
**生徒** 1年 89, 2年 102, 3年 101 計 : 292

保護者 1年 83, 2年 102, 3年 99 計 : 284

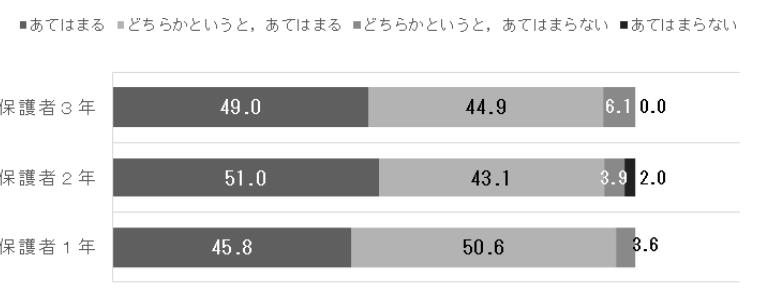
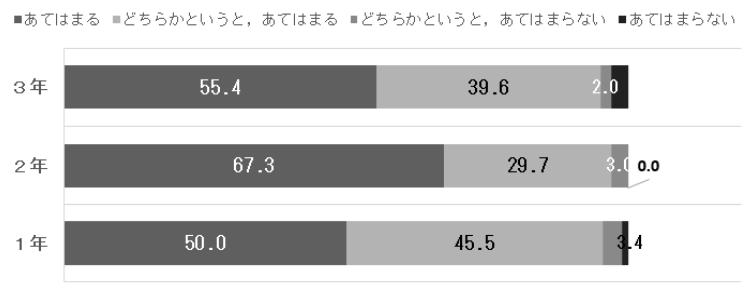
- 1 家庭で「おはよう、おやすみ、行ってきます、ただいま」等の挨拶をしている。



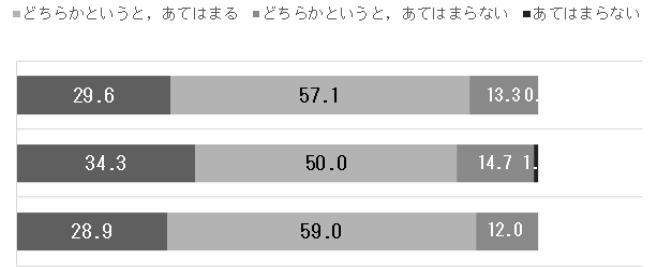
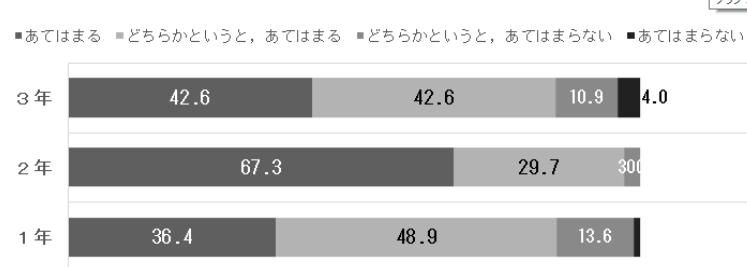
- 2 地域（近所）で、顔見知りの方に会ったとき、すすんで挨拶している。



- 3 学校で友人や先生に会ったら、すくんで挨拶している。



- 4 学校で地域の方やお客さんに会ったら、すくんで挨拶している。



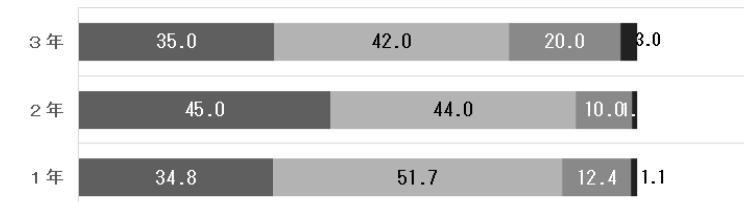
質問1～4の回答の傾向として以下のことが挙げられます。

- ・どの質問、どの学年においても、生徒、保護者とともに「挨拶ができている」の割合が8割を超えており、挨拶に対する全体的な意識の高さがうかがえる。
- ・「家庭で挨拶できている」の質問では、「あてはまる」と自信をもって答えている割合が生徒、保護者ともに7割を超えており、家庭での挨拶の習慣が土台となっていることがうかがえる。
- ・家庭での挨拶に比べ、「学校、地域での挨拶」は「あてはまる」と自信を持って答えられない面がある。

全体的な傾向として、地域や学校での挨拶の様子など、保護者の皆さんからは見えづらい部分においても、生徒との認知の仕方にズレが少なく、子どもの様子をよく見ていただいていること、またはコミュニケーションをとっていただいていることがうかがえます。ぜひ今後とも見守っていただければと思います。

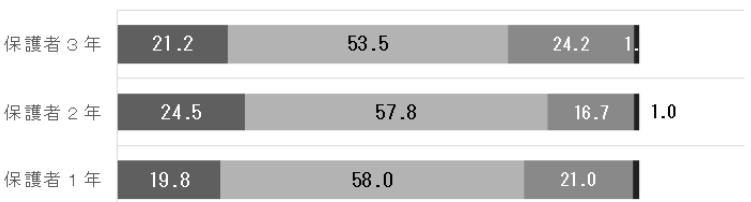
5 「心を込めた挨拶」について、相手の目をしっかりと見て挨拶している。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



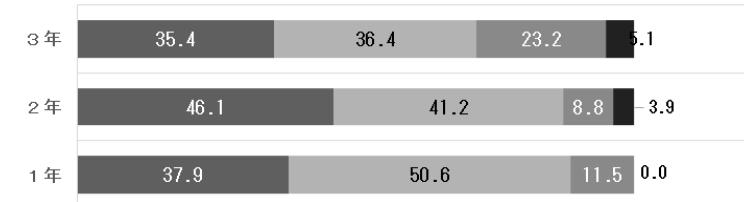
5 「心を込めた挨拶」について、お子さんは、相手の目をしっかりと見て挨拶しているようだ。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



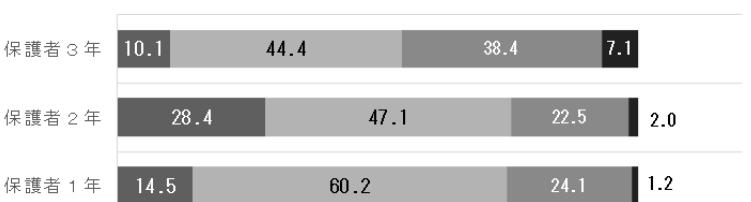
6 「心を込めた挨拶」について、元気よく挨拶することを意識している。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



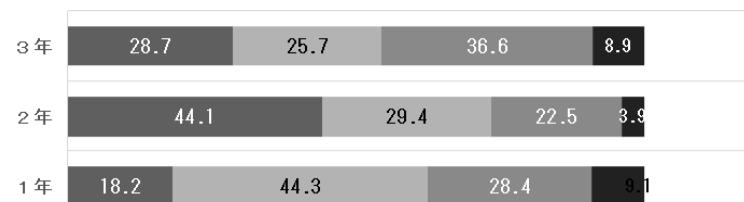
6 「心を込めた挨拶」について、お子さんは、元気よく挨拶することを意識しているようだ。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



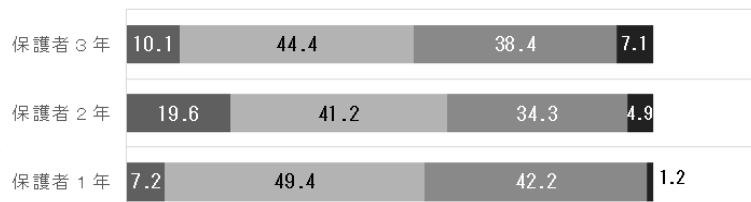
7 「心を込めた挨拶」について、挨拶するとき笑顔を意識している。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



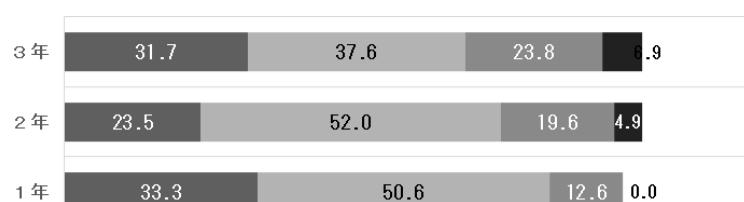
7 「心を込めた挨拶」について、お子さんは、挨拶するとき笑顔を意識しているようだ。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



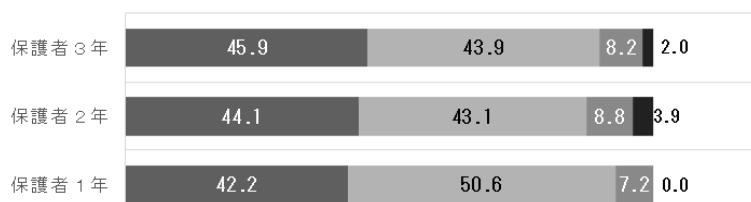
8 「心を込めた挨拶」について、相手の心に届く挨拶を意識している。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



8 お子さんは、学校行事を通して、真剣に取り組む姿を保護者や地域の方に見せている。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



本校では、「心を込めた挨拶」を「相手の目をしっかり見て、元気よく、笑顔を意識して行う挨拶」とし、生徒にその意識を持って実践するよう指導しております。

質問5～8の回答の傾向として以下のことが挙げられます。

- ・「相手の目を見て挨拶をする」「元気よく挨拶する」は7割以上が意識できている。
- ・「笑顔で挨拶をする」は、他の項目よりできていないととらえている傾向がある。
- ・学年によって異なる傾向が見られる。
- ・「相手の心に届く挨拶を心がけている」の項目は7割前後ができたととらえており、形だけ挨拶すればいいととらえている生徒は少ないことがうかがえる。

今年はコロナ禍の中でも、生徒が意識的に「心を込めて」挨拶しようとしていた様子が分かりました。家庭で土台を作っていたい習慣を校内でもさらに伸ばし、地域でもより響いていくよう声掛けしてまいります。

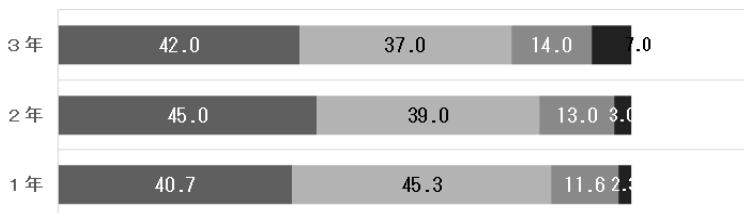
9 「心を込めた挨拶」について、自分の挨拶は相手の心に届いていると思う。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



10 学校行事を通して、真剣に取り組む姿を保護者や地域の方に見せている。

■あてはまる ■どちらかというと、あてはまる ■どちらかというと、あてはまらない ■あてはまらない



質問10の回答として以下のことが挙げられます。

- ・ほぼ8割の生徒が、真剣に取り組む姿を見せられたと感じている。
- ・どの学年も同様にその傾向が見られる。

今年度、実際に保護者の皆さんにご覧いただける行事は多くはありませんでしたが、どの行事に対しても真剣に取り組む姿がありました。どの学年においてもそれを実感している生徒が多かったことがうかがえます。コロナの影響はまだ続いているですが、次年度も以降も生徒のそういった真剣な姿を引き出せるよう、力を尽くしていくたいと思います。

質問9の回答として以下のことが挙げられます。

- ・6、7割の生徒は自分の挨拶が相手の心に届いていると感じている。
- ・学年によって異なる傾向が見られる。

「挨拶が相手に心に届いている実感を持つ」ということは、とてもハードルの高いものと考えます。しかし、そのような実感を持つ生徒が多く、学校全体の明るく前向きな雰囲気を形作っている大きな要因となっていることがうかがえます。

## □継続してほしいこととしていただいたご意見

教職員のチームワークと熱心さ、安心して登校出来る指導体制、体育祭（特に応援合戦・全校ソーラン）、学校・地域での積極的な挨拶、ボランティア活動、情報発信の充実、いじめについて考える活動、地域の方々との行事、ネットを使用した活動、顧問の先生がしっかりとついた状態での部活動、地域の行事や活動に参加する事、メールでの保護者への連絡、校庭の除草作業など

挨拶、女子スラックス導入など慣習にしばられず現代に見合った見直し、学校行事は延期しても極力実施してほしい、ゴミ拾い、レク大会、体育祭のエール交換、学校のよい雰囲気、マスク着用・黙食・消毒・換気、スクールライフをつけること、授業参観、フリー参観、学校の様子をスクリーンなどで見せること、部活動での生徒と先生の壮行試合、授業以外での学習フォロー

## ■改善が必要なこととしていただいたご意見

お便りにもっと写真を、寒い場合に上着を着ても構わないルールを全クラスで統一、毎日ジャージに着替える必要があるのかどうか、カバンが重そうなので持ち帰らなくてよいものの確認を、部活で生徒の意見を聞いてほしい、昇降口を開放する時間をもう少し早く、寒い場合女子の制服は中で温度調節が難しいため制服の上の寒さ対策を見直してほしい、プールが使えるようにしてほしい、偏った人のみの雪かきは改善してほしい、授業以外の勉強会を実施してほしい、朝や体育の時間などマスクをしないでいる時間が長い生徒がいるので声掛けを、4時間授業の際は弁当なしに、部活の時間を確保してほしい、土曜日の授業参観は可能でしょうか、体育館内を靴下で歩くのをやめさせてほしい、名札を縫い付けるとクリーニングで取り外しを求められるため冬服でもピンで可にできないか、教職員がもっと挨拶すべき、懇談会や学年の集まりなどをオンラインでもいいのでは、修学旅行の短縮はしない方がよかつた、オンライン授業のトライアルも必要、アンケート結果の改善すべき点も記載した方がよい、教師は子どもへの対応などもっと改善すべき点があるのではないか・一般常識や大人としての最低限の心得を求める・先生はただの職業としてでは勤まらない、行事の決定は近隣の学校と判断を合わせられないか、一部の自己中心的な生徒（その保護者含）の扱いをもう少し考えてほしい

様々なご意見をお寄せいただきありがとうございます。我々自身も成果を実感できた部分、改善が必要と感じられる部分など、どちらも様々ありました。今回のアンケート結果や普段の生徒の姿、我々の見取りなど、あらゆる面から今後のあり方を検討し、次年度の計画を作成する一助といたします。学校として改善すべき点も多々ありますが、本校の生徒たちは、全体としてとても前向きな雰囲気で何事にも一生懸命取り組みました。それらがより向上し、集団の力が個にもプラスに影響し、さらに良い循環が生まれるよう、取り組んで参ります。

持続・継続すべきもの、ご理解を得るべきもの、すぐに改善が可能なもの、改善するまでに時間要するもの、賛否両論あるもの、議論や意見交換が必要なもの、新たな解決策が必要なものなど、しっかり精査し、臨んでいきたいと思います。保護者の皆様には、できる限り我々の考えをお伝えしながら進めていけるよう、努力していきたいと思います。